

# 広報 しばた

## 熱気あふれるライブ

「太陽・自然・人inしばた実行委員会」の皆さんが主催する「第18回バンドフェスタinしばた」が開催されました。当日は、町内外から様々なジャンルのバンド18組が熱い演奏を繰り広げ、会場は観客の皆さんと一体となって大いに盛り上がりました。世代間、地域間交流を生み出すバンドフェスタは、私たちに元気を与えてくれるイベントとして、これからも町を盛り上げ続けます。

【写真：8月19日（日）柴田町太陽の村】

# 在宅医療と介護の連携

特集 1

いつまでも安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるように、地域包括支援センターがサポートします。



問 福祉課 ☎55-2159

## 「在宅医療」 ご存じですか。

在宅医療には、「訪問診療」と「往診」があります。訪問診療とは、通院が困難な患者の要請を受けて、日時を約束して医師が定期的な訪問の上、診療するものです。一般的に1週間ないし2週間に1回の割合で

定期的かつ計画的に訪問し、診療、治療、薬の処方、療養上の相談、指導などを行います。

一方、往診とは、訪問診療と同様に通院が困難な患者の要請を受けて、かかりつけの医師が急変時などの予定外に診療を行うことです。なお、在宅医療の治療費

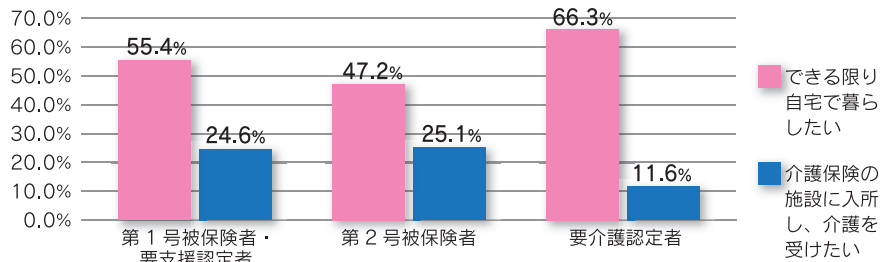
については、医療保険が適用されます。

## 「在宅医療と介護」の 相談窓口は地域包括 支援センターです

平成29年に介護保険事業計画策定のために実施したアンケート調査では、全体で5割を超える方々が、介護が必要になった時に望む介護のあり方について、「できる限り自宅で暮らしたい」と回答しています。高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように、医療、介護、福祉などが連携して、必要とされるサービスを切れ目なく提供していくサポート体制が「地域包括ケアシステム」です。

地域包括支援センターは、これらの「総合相談窓口」であり、在宅医療と介護の連携をはじめ、高齢者一人ひとりのニーズに応じたサービスが提供されるよう

介護が必要になった時の希望



マネジメントする役割を担っています。

相談には、主任ケアマネジャー、保健師（看護師）、社会福祉士などの専門職が連携して対応しますので、在宅医療についてもお気軽にご相談ください。

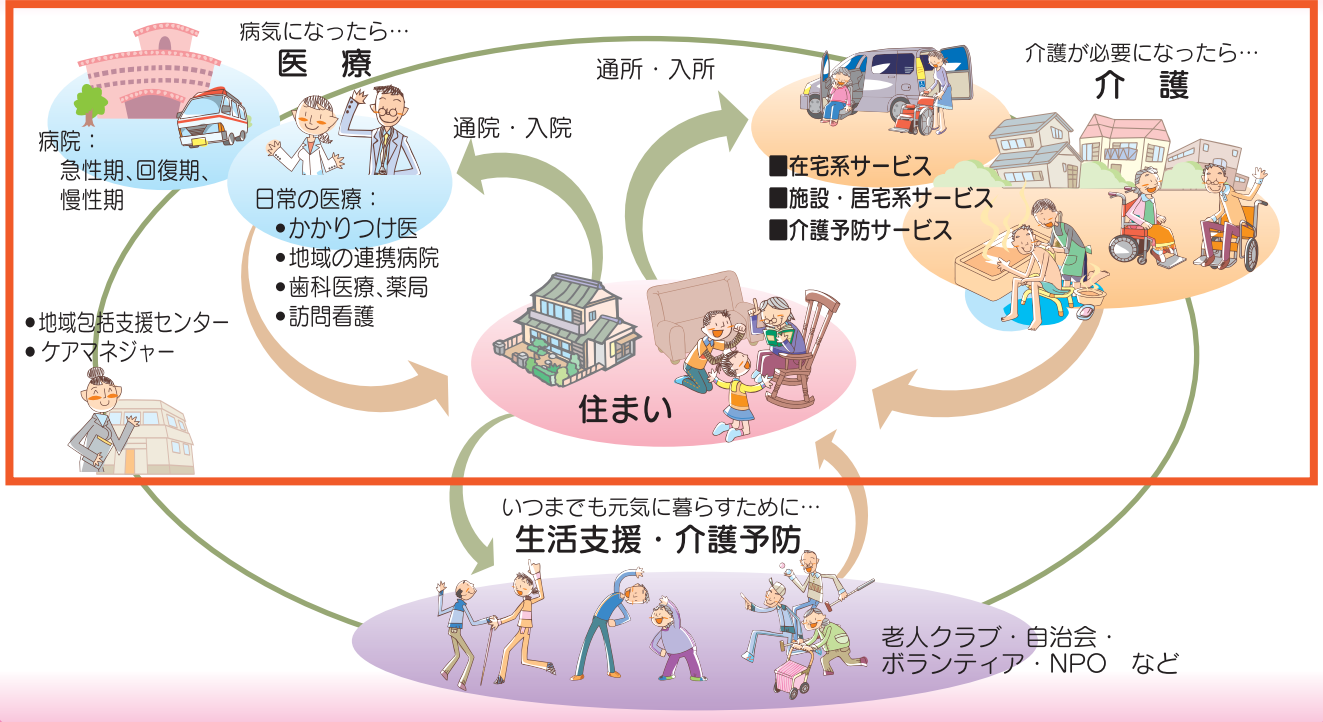


◎柴田町地域包括支援センター  
(船岡地区・船迫地区)  
柴田町船岡中央1丁目9-2  
☎86-33340



◎槻木地域包括支援センター  
(槻木地区)  
柴田町大字海老丸山40-2  
(第二常盤園内)  
☎56-5764

## 地域包括ケアシステムのイメージ図



### 在宅での生活を 継続するための準備

患者本人および家族の状況によって、在宅医療と介護サービスの利用に向けた準備は変わってきます。次のことについて、事前に確認しましょう。

- ① かかりつけ医の確認  
かかりつけ医がいる場合は、訪問診療が可能かどうかを確認しましょう。
- ② 訪問看護の利用  
訪問看護は、かかりつけ医の指示の基に保険サービスが利用できます。
- ③ 介護保険の準備  
介護保険の各種サービスが必要になった場合は、町に介護保険の認定申請をします。通常は申請から1カ月程度で認定結果が通知されます。

### ④ 自宅の療養環境の準備

これまでの生活が継続できることが理想的です。手すりの取り付けやポータブルトイレの設置など高齢者のニーズに合わせた居室環境が大切です。

### ひとり暮らし高齢者や 高齢者世帯の人は？

在宅医療や看護、介護サービスを上手に利用することで、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯でも自宅での療養生活を送ることができます。まずは、地域包括支援センターに相談してみましよう。

### 歯科医師の訪問診療・ 薬局の薬剤師などの 訪問薬剤管理指導

町内には、在宅で療養しているため歯科通院が困難な方に対して、歯科医師が自宅を訪問し、歯の治療や口腔衛生指導などを行う医

院があります。また、同様に薬局に行くことが困難な方に対して、薬剤師が自宅を訪問し、薬に関する説明や相談、服薬管理などを行う薬局があります。

どちらも医療保険によって利用できるもので、「かかりつけ歯科医」や「かかりつけ薬局」、または、地域包括支援センターに相談してみましよう。

在宅医療と介護の連携を目的に、平成29年度から柴田町医師団、柴田歯会、柴田郡医師会、仙南薬剤師会、柴田支部、柴田・角田地域訪問看護ステーション、地域包括支援センターおよび町内の訪問介護事業者で構成される「柴田町医療福祉介護連携支援協議会」がスタートしました。協議会を継続的に開催し、医療・看護・介護がスムーズに連携できる仕組みづくりに取り組まします。

特集2

しばたの夏まつり

# ザ・フェスティバル in しばた 2018

8月4日(土)、「ザ・フェスティバル in しばた 2018」が陸上自衛隊船岡駐屯地で開催されました。柴田町の夏を代表するこのイベントも今年で16回目を数え、約10,000人の来場者で賑わいました。

よさこいの華麗な演舞で盛り上がり、自衛隊音楽隊とフラッグ隊の共演、子どもたちの可憐なチアダンスなどの催し物が披露され、クライマックスの打ち上げ花火では、夏の夜空に3,000発もの大輪が咲き、観客を魅了しました。






- ① 柴田よさこい美翔連の華麗な演舞
- ② 仙南総合ブルチアの元気な演技
- ③ 観客の方も参加した「縦の木音頭」
- ④ 会場に響き渡る船岡さくら太鼓の演奏
- ⑤ 船岡祭友会の神輿渡御
- ⑥ 自衛隊音楽隊・フラッグ隊の華麗な共演



# 下名生心和会夏まつり 8月13日(月)

所 下名生児童公園





下名生心和会  
会長 平間 達也さん

この地区の夏祭りは、生唄、生演奏で盆踊りのお囃子をやっています。また子どもを対象にした抽選会を行うなど、一人でも多くの子どもたちに参加してもらい、将来、同じようにお祭りをやりたいと思うて欲しいと思います。

最近では、他の地区から子どもたちが来てくれるようになったのがとても嬉しいですね。

## 地域の夏まつり


町内では地域ごとに多くの夏まつりが行われています。お祭りを取り仕切る大人たちは、多くの人に楽しんでもらおうと準備を重ね、お祭りを心待ちにしていた子どもたちは、鮮やかな浴衣に着替えて、目いっぱい楽しみます。

そんな地域で行われているお祭りをご紹介します。



第17回夏祭り  
(三ヶ屋敷)  
8月15日(水)  
所 町営墓地

# 槻木夏まつり 7月16日(月) 所 槻木生涯学習センター駐車場



小室 奏多さん  
(槻木小6年)

お祭りには友だちといとこと一緒に来ました。一番楽しかったのはスイカ割りでした。友だちの声を頼りにスイカを割ることができて、まわりの人から大きな拍手をもらえてうれしかったです。これからも参加したいです。僕も大人になったら、子どもたちが喜ぶ夏祭りをつくっていきたくて思いました。





**ふなばさま夏祭り**  
8月11日(土)  
所 西船迫6号公園



**四日市場山根子ども会育成会  
夏祭り盆踊り大会**  
8月11日(土)  
所 四日市場山根集会所



**第24回地区夏祭り(7B区) 8月18日(土) 所 中曽根集会所・中曽根公園**



このお祭りのカラオケ大会には第1回目から毎回参加をしていて、今年で24回目の参加になりました。普段から船岡のカラオケサークルに通っていて、楽しく歌っています。

加茂 うめのさん



**ちびっこなまつり**  
7月26日(木)  
所 三名生児童館



**ちびっこるん夏まつり**  
7月13日(金)  
所 船迫こどもセンター



**納涼盆踊り大会**  
(上川名)  
8月14日(火)  
所 上川名能化寺



特集3

## SAKURA CAMP 2018



## ベラルーシ新体操ナショナルチーム 公開演技会 in 柴田町 仙台大学

昨年に引き続き、今年もベラルーシ共和国新体操ナショナルチーム2020年東京オリンピック事前合宿(SAKURACAMP2018)がホストタウンである柴田町と白石市で7月25日(水)から30日(月)にかけて行われました。

26日(木)、選手とコーチ合わせて16人が来町。柴田町を表敬訪問したあと、早速、仙台大学で練習が行われました。

28日(土)には、仙台大学で公開演技会が開催され、2020年東京オリンピックでもメダルの獲得が期待される、世界でもトップレベルの選手たちの華麗な演技に、訪れた多くの観客の皆さんが魅了されていました。

問まちづくり政策課

☎54-2111





アリーナ・ガルノシコ選手とアナスターシャ・サロス選手にお話を伺いました。

**公開演技会について**

ガルノシコ選手 去年大きなけがをし、復帰後初めての本格的な演技でした。内容は満足しています。

サロス選手 ミスがあったので、これから練習を重ね、磨きをかけていきます。

**日本で新体操をしている子どもたちへのメッセージ**

ガルノシコ選手 大切なのはあきらめないで頑張ること。小さいときは選手になることを意識しないで、楽しんでください。

サロス選手 新体操が好きなら、日々の努力を怠らないでください。自分を信じて努力を重ねることの結果につながります。



アリーナ・ガルノシコ選手



**オリンピックの目標**

ガルノシコ選手 まずは何としてもオリンピックの代表に選ばたいです。そのために、日頃の練習から緊張感を持って取り組んでいます。けがが続いたので、万全な状態で本番を迎えられるようにしたいです。

サロス選手 アリーナ選手と同じく、まずは代表に選ばれることです。プレッシャーを感じていますが、代表に選ばれたなら頑張りたいと思います。



アナスターシャ・サロス選手



柴田町長 滝口 茂

このたび、宮城県造園建設業協会青年部の皆さまに、青年部設立30周年記念事業として、船岡城址公園の船岡平和観音像周辺に日本式の庭園を造つていただけることになりました。

青年部の皆さまとのつながりは、二年前、柴田町さくららの会の皆さんと一緒に、ボランティアで「桜の小径」に八重紅しだれ桜を植えていただいたときからです。その時の桜は、魅力的な桜並木に成長し、今年の「しばた桜まつり」では、新たな観光スポットとして、多くの観光客に堪能していただきました。

造園業というと、町民の皆さんには馴染みが薄いかも知れません。彼らはこれまで庭師として、由緒ある庭園や家庭の庭造り、公園や街路の整備に関わり、美しい日本の景観づくりに貢献されてきました。

しかし、私たちの生活スタイルが洋風化し、また、ガーデニングブームの影響もあって、家庭の庭で、日本式の庭園を見ることは、ほとんどなくなってしまいました。さらに、コストが高くつくといった先入観もあって、行政としてもなかなか公共施設に日本式庭園を造ることが難しくなっ

いました。

人口が減少し、高齢化社会を迎え、ここに来て、安全、安心で美しいまちづくりといった観点から、グリーンインフラの整備や日本式の庭園造りへの関心が高まってきました。雑木林と山石や川石、そして石橋や池とを組み合わせ、その中をせせらぎが流れる景観は、まさに、日本独自の造形美であり、日本人の原風景でもあります。ぜひ、後世に引き継ぎたい景観であります。

これからのまちづくりや市街地の形成においては、緑豊かな広場、公園や庭園、街路樹は欠かせない標準装備であり、その配置計画、いわゆるランドスケープデザインが大変重要になってくると考えております。

私としては、これまで先人たちが生活の中で築いてきた街の風景を大切にしながら、幾多の名園を残した作庭家の思想や新たな街並みづくりの手法であるランドスケープデザインを学びながら、新しい時代に求められる景観づくりに務めてまいりたいと考えております。できたら、日本の四季が感じられる日本式庭園を造つてみたいと思っておりますので、今回、青年部の皆さまがそれを造つてくれることになり、大変喜んでるところです。

## 日本式の庭園づくり

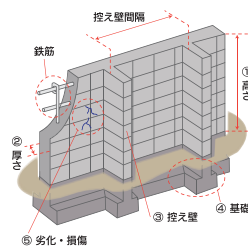
## 自宅のブロック塀は安全ですか？

6月18日に発生した大阪北部を震源とする地震では、ブロック塀の崩落に巻き込まれ、尊い命が失われました。こうした被害を繰り返さないために、チェックリストで自宅のブロック塀などの点検をお願いします。

### ブロック塀点検チェックリスト

- ①塀の高さ：2.2m以下である。
- ②塀の厚さ：厚さ10cm以上（塀の高さが2mを超える場合は15cm以上）である。
- ③控え壁（塀の高さが1.2mを超える場合）：間隔が3.4m以下である。
- ④基礎：コンクリートの基礎がある。
- ⑤劣化・損傷：傾いたり、ひび割れたりしていない。

※1つでも☑がつかない項目があれば危険なので改善しましょう。安全性など不明な点がありましたら、町で調査しますのでご連絡ください。



### ●道路に面したブロック塀などを除却する場合には補助があります。

町の調査で「改修や除却の必要がある」という判定を受けたブロック塀を除却する場合、または、除却してフェンスなどを設置する場合、その費用の一部を補助します。

詳しくは、お問い合わせください。



ブロック塀除却前

ブロック塀除却、改修後

関都市建設課 ☎55-2121



# 健康情報クリップ

なるほど!

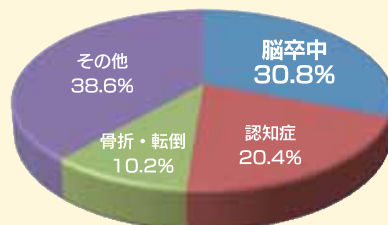
みんなの健康ライフ シリーズ49

健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第49回のテーマは「脳卒中を予防しよう」です。

脳卒中は、大きくは脳の血管がつまる「脳梗塞」と、脳の血管が破れて出血する「脳出血」や「くも膜下出血」に分けられます。日本人の死亡原因の第4位を占め、半身麻痺や言語障害、認知症などが残ることがあり、寝たきり原因の第1位になっています。

寝たきり(要介護5)となった主な原因



厚生労働省 平成28年国民生活基礎調査の概況「要介護の状況」より

## 脳卒中を予防しよう

### 脳卒中予防十か条(日本脳卒中協会作成)

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| ①手始めに 高血圧から 治しましょう | ②糖尿病 放っておいたら 悔い残る    |
| ③不整脈 見つかり次第 すぐ受診   | ④予防には タバコを止める 意志を持って |
| ⑤アルコール 控えめは薬 過ぎれば毒 | ⑥高すぎる コレステロールも 見逃すな  |
| ⑦お食事の 塩分・脂肪 控えめに   | ⑧体力に 合った運動 続けよう      |
| ⑨万病の 引き金になる 太りすぎ   | ⑩脳卒中 起きたらすぐに 病院へ     |

※脳卒中の要因となる高血圧や糖尿病、メタボリックシンドロームを早期発見するために、年に一度は必ず健診を受けましょう。

### 自分でもできる脳卒中予防のための血圧チェック

- 家庭用の自動血圧計で、普段の血圧をチェックしましょう。
- 朝起きてから1時間以内や寝る前などできるだけ同じ条件で測り、毎日記録しましょう。

もし、突然こんな症状が起こったら、すぐに救急車を呼んで、一刻も早く病院で適切な処置を受けましょう。

- |              |                |               |
|--------------|----------------|---------------|
| ① 顔がゆがむ、麻痺する | ② 手の脱力、手が上がらない | ③ 言葉が出ない、もつれる |
|--------------|----------------|---------------|

9月9日は、「救急の日」、9月9日から9月15日は「救急医療週間」です。

- 救急医療は限りある資源です。救急医療を必要としている方がスムーズに利用できるようご理解ご協力をお願いします。
- 重大なけがや病気の可能性がある場合、いつもと違う場合、様子がおかしい場合は、ためらわずに「119番」に連絡してください。調子が悪いなど感じたら、早めにかかりつけ医に診てもらいましょう。

広 告

広 告

# まちかど NEWS



物販、飲食、ワークショップの27のブースが来場者を楽しませてくれました。



小学生による商業体験「Jam つこショップ」。企画し、販売し、利益を得るという貴重な体験をしました。

## 子どもから大人まで楽しめる 「第4回しばたJam+Jam手作り市」

NEWS

7月29日(日)、しばたの郷土館を会場に「しばたJam+Jam手作り市」が開催されました。「柴田町でおしゃれで楽しい手作り市をやりたい」という住民の方々の想いから始まり、今回で4回目となります。時折雨が降る天候にもかかわらず、町内外から約1,000人が訪れ、賑わいを見せていました。

丸森町から両親と来場し、キッズネイルを体験した宍戸璃子さん(7歳)は、「きれいにしてもらってうれしかったです。また来てみたいです」と笑顔で話し、おしゃれに仕上がったネイルを見せてくれました。

## 新しい時代の理想の上司「イクボス」

NEWS

7月31日(火)、槻木生涯学習センターで「イクボスシンポジウムin仙南」が行われました。「イクボス」とは、職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らの仕事と私生活を楽しむことができる、経営者・管理職のことをいいます。

講師のNPO法人ファザリング・ジャパン東北の川島高之顧問は、「仕事と私生活の両立可能な職場とするために働き方改革が必要で、そのためには、上司の意識と行動改革が大切です」と話されていました。



イクボスの必要性を認識し、理解を深める良い機会となりました。

広 告

広 告

## 暑さを吹き飛ばす、熱い戦い

7月29日(日)、船迫地区の8つの子ども会が参加する、第38回地区対抗混合ドッジボール大会が、船迫小学校体育館で行われました。

迫力あるプレーが随所で見られ、保護者の皆さんからも歓声が沸き起こっていました。優勝した北船岡地区のキャプテン羽田朔人さん(6年)は「最後の大会で優勝できてすごくうれしいです。今日の勝因は、みんなで一つになれたからです」と喜びの声を聞かせてくれました。



上級生が下級生を守る姿が印象的でした。

## 盛夏の愛宕山を歩く

7月21日(土)、四季の里山ハイキング「夏の里山を歩こう」が開催されました。今回は、農村環境改善センターから、入間田地区の円龍寺、八雲神社を抜け、雨乞林道から愛宕山に登る約11kmのコースです。何度も里山ハイキングに参加されるといふ吉田慎一さん(槻木)は

「このコースを歩くのは4回目ですが、愛宕山山頂から、見える景色がこのコース一番のお気に入りです」と感想を述べられました。



里山の風景を楽しみながら約5時間のコースを歩きました。

未来先生は自分たちで指導方法を考えて教えています。



## 夏休みに苦手克服! 未来先生「仙台大塾」開催

仙台大学で7月30日(月)から8月8日(水)までの間、教員を志す大学生が未来先生として、子どもたちの夏休み期間中の学習支援を行う「仙台大塾」を開校しました。

2回目の仙台大塾への参加という鈴木駿斗くん(船岡小6年)は、「集中して勉強することができました。漢字の宿題を終わらせたことを目標に頑張りました」と参加した感想を話してくれました。

## 普段とは違う環境でわくわく体験

8月3日(金)、農村環境改善センターで「わくわく体験デイキャンプ」が行われました。町内の小学1〜3年生を対象に、炊飯活動やレクリエーションを通して仲間と協力することの大切さを学び、豊かな人間性を育むことを目的として、柴田町総合型地域スポーツクラブが主催したものです。

狩野愛蘭さん(船岡小2年)は「1年生の時にも参加して楽しかったので、今年も参加しました。とても楽しい思い出になりました」と感想を話してくれました。

広 告

広 告

俳句

酷暑にも路傍の草のたけのびて 船岡 可沼 妙子  
 村の子の腰まで浸かる夕焼かな 石母田星人  
 鯛雲ぐるぐる巻きの子山羊かな 鎌形 清司  
 クロワツサン食み台風をやりすこす 齋藤 善則  
 秋徹雨浜に残りし杭一つ 鈴木 三山  
 鍵盤をはみ出してゐる銀河かな 鈴木 清子  
 白絣楷書のやうな佇まひ 鈴木 幸子  
 明日は去る津軽に銀河濃かりけり 相馬カツオ  
 夕風や水脈たをやかに戻り船 峠 三枝子  
 帰省の子晴れやかにしてずんだ餅 吉田 啓子  
 幼子の飽きることなき水遊び 下名生 笠松ふみ子  
 ミニトマト風と戯むる夏の宵 船岡 安藤 節子  
 大花火余韻つつんで火星へと 西船迫 安ヶ平奈津枝  
 野分さま旅をさせましょ雑草の種 葦神 葛  
 暑気にげて蔵王の山で花巡る 西船迫 深見 半翁

川柳

妻女子会生きているかと電話くる 川嶋 正勝  
 冷麦茶五臓六腑にしみわたる 船岡 阿部美代子  
 雑草も熱中症にならないか 西船迫 安ヶ平良三  
 おくれ鏡十年はやく欲しかった 西船迫 渡辺 晴江  
 ばら剪つてその音指に残りをり 槻木 加藤 マサ  
 夏やさい冬にそなえてつくだ煮に 船岡 小林 夢子  
 高気圧ダブルで台風逆走す 西船迫 舟廻めぐる  
 空の旅虹橋こえて雲海へ 槻木 村上 紫寿  
 由緒ある姫か介護士老ちじむ 下名生 笠松ふみ子

短歌

「平成」の御代の祈りの悲しくも 船岡 可沼 妙子  
 激災多し民の涙も 西船迫 下浦 智子  
 盆迎え日々の流れの早さ増し 西船迫 下浦 智子  
 亡き人愛しい墓参り 西船迫 下浦 智子  
 世の中に神も仏も八百万 西船迫 下浦 智子  
 何故変えられぬ台風進路 西船迫 三澤 精一  
 日の国の言の葉深く美しく 西船迫 三澤 精一  
 心を添へて子等に伝へん 大槻 信吉  
 猛暑去り電話の声もお互いに 船岡 沢田 順子  
 生き生きはずむ三十分なり 船岡 沢田 順子  
 線香の煙の中でなむなむし 本船迫 森田 眞六  
 孫は供物を「もつとちようだい」 本船迫 森田 眞六  
 紙芝居小学校のポランティア 船岡 伊藤タイ子  
 輝く「眼」我を見たりて 船岡 伊藤タイ子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで9月12日(水)までご応募ください。 圃 まちづくり政策課 ☎54-2111

約20万本もの曼珠沙華で、赤く染まる船岡城址公園  
 期間／9月15日(土)～30日(日)  
 会場／船岡城址公園

まんじゆしやげ  
 第6回しばた曼珠沙華まつり

広 告

広 告



# 柴田町の 記憶 をたどって

9月に入っても、まだまだ心配な台風などによる豪雨災害。柴田町でも過去に大きな被害を受けました。

昭和57年9月の台風18号により警戒水位を超えた阿武隈川。  
(広報しばた昭和57年10月号より)



昭和61年8月4日から5日にかけて町を襲った集中豪雨により冠水した水田（松ヶ越付近）。  
(広報しばた昭和61年9月号より)

# こども美術館



「かっこいいくるま」(絵)

西住小学校2年

佐々木 和輝 さん



「光をあびてる命」(絵)

西住小学校5年

鈴木 大成 さん

広 告

広 告

広 告

広 告

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。

## ベストクオリティ・ ベストサービスを目指して

山崎製パン株式会社仙台工場  
狭山 成実さん（31歳）

今回は、槻木地区でパンの製造を行っている山崎製パン株式会社仙台工場の狭山成実さんをご紹介します。



「ヤマザキ春のパン祭り」でお馴染みの山崎製パン株式会社。今やパンは日本人の食生活に欠かすことのできない主食のひとつになっています。

「元々、ものづくりに興味が有り、地元ということもあって入社しました。もちろんパンも大好きです。入社して驚いたのは生産ラインのスケールの大きさでした」と入社当時を振り返ります。

入社後、食パン課に配属され、12年間食パン一筋で、現在は3カ月前から検品包装を担当しています。

食パン製造は、原材料を混ぜ合わせ、発酵させる「仕込」、生地を焼くための食型に入れる「成型」、食型に入れた生地を焼き上げる「焼成」、品質の確認を行い出荷する「検品・包装」の工程からなりませんが、狭山さんはその全てを経験してきました。

「パン作りは、同じ作り方をしても、その日の天気、気温、湿度によって品質に差が出ます。それを一定の品質になるように日々調整を行う必要があります。一

日たりとも同じ条件はありません。そこが難しきであり、楽しきでもあります」と話す狭山さん。

昨年、会社の推薦を受けて、3カ月間パン職人が集う学校で勉強し、とても貴重な経験ができたそうで「パンに対する知識がすごく増えました。小麦粉ごとの特性によって、パンに与える影響を、科学的に学ぶことができました。また、製造のスキルの上を回することもできました。せっかくチャンスをもたらって身に付けた知識ですので、この経験を後輩に伝えていこうと思っています」と話してくれました。

趣味は釣りで、子どもの頃よく父親に連れて行ってもらったそうです。「同じように、息子が大きくなったら、一緒に行きたいですね」と笑顔を見せてくれました。

最後に「品質第一、安全安心なパンを皆さまのご家庭にお届けしたい」と抱負を述べてくれました。今後もおいしいパンが食卓に届くことを楽しみにしています。



焼き上がった食パンの検品を行う狭山さん。焼きむらや生地のきめ細かさなど、厳しくチェックしています。



山崎製パン株式会社仙台工場  
柴田町槻木白幡2丁目9-1  
TEL 56-3111

昭和23年千葉県市川市に設立（現在の本社は東京都）。昭和44年に仙台工場の稼働開始。仙台工場で製造された商品は、東北6県に流通している。従業員1,500人。

人口と世帯数  
(平成30年8月1日現在)



37,947人  
(前月比53人減)



18,935人  
(前月比38人減)



19,012人  
(前月比15人減)



15,734世帯  
(前月比14世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。